



## 本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

# 目次

<u>I. 平成30年9月期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	9
<u>II. 当社の戦略について</u>	18
■ はじめに	19
■ ビジネスモデル	21
■ マーケティング戦略	25
■ 投資戦略	28
■ 管理体制	29
■ 資本政策	30
■ CSR活動	31
■ 総括	32

## I . 平成30年9月期の状況

---

## 平成30年9月期 決算ハイライト

### － 連結業績 －

売上高	9,468百万円となり、前年比1,331百万円の増収
営業利益	1,168百万円となり、前年比125百万円の増益
経常利益	1,135百万円となり、前年比111百万円の増益
当期純利益	785百万円となり、前年比43百万円の増益

平成30年9月期における配当については、第2四半期末、期末ともに1株当たり25円、年間合計は1株当たり50円の配当を実施いたします。

## 平成30年9月期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）	平成29年9月期	構成比（%）	平成30年9月期	構成比（%）	前年比 増減率（%）
売上高	8,137	100.0	<b>9,468</b>	100.0	16.4
保険代理店事業	7,280	89.5	<b>8,347</b>	88.2	14.7
メディア事業	651	8.0	<b>832</b>	8.8	27.7
再保険事業	683	8.4	<b>724</b>	7.7	5.9
連結修正	▲ 479	▲ 5.9	<b>▲ 436</b>	▲ 4.6	—
売上原価	1,972	24.2	<b>2,623</b>	27.7	33.0
売上総利益	6,164	75.8	<b>6,844</b>	72.3	11.0
営業費用	5,120	62.9	<b>5,675</b>	59.9	10.8
営業利益	1,043	12.8	<b>1,168</b>	12.3	12.0
保険代理店事業	745	9.2	<b>843</b>	8.9	13.2
メディア事業	163	2.0	<b>217</b>	2.3	32.9
再保険事業	132	1.6	<b>105</b>	1.1	▲ 20.3
経常利益	1,024	12.6	<b>1,135</b>	12.0	10.9
当期純利益	742	9.1	<b>785</b>	8.3	5.8
一株当たり当期純利益(円)	69.96		<b>74.72</b>		

- 保険代理店事業においては、引き続き積極的なプロモーションを実施いたしました。  
メディア事業においては、引き続き好調に広告出稿をいただいております、再保険事業も堅調に伸長した結果、連結売上高は16.4%増収となりました。
  - 利益面では、再保険事業が前期に比べ保険金支払損害率が上昇したため減益となったものの、保険代理店事業及びメディア事業が増益となり、連結経常利益は10.9%の増益、当期純利益については5.8%の増益となりました。
- 以上の結果、連結売上高及び当期純利益は過去最高値となりました。

## 平成30年9月期 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	平成29年9月期末	平成30年9月期末	増減
流動資産	4,324	4,340	15
現預金	1,302	1,692	389
売掛金	582	486	▲ 95
未収入金	1,956	1,518	▲ 437
その他	484	642	158
固定資産	3,391	3,451	60
有形固定資産	553	447	▲ 105
無形固定資産	685	602	▲ 82
投資その他の資産	2,152	2,402	249
資産合計	7,716	7,792	76

（単位：百万円）	平成29年9月期末	平成30年9月期末	増減
流動負債	2,184	2,349	164
短期有利子負債	110	62	▲ 48
その他	2,073	2,287	213
固定負債	954	930	▲ 23
長期有利子負債	442	343	▲ 98
その他	511	586	75
負債合計	3,138	3,279	141
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,785	2,026	240
自己株式	▲ 618	▲ 989	▲ 370
その他	142	207	64
純資産合計	4,577	4,512	▲ 64
負債及び純資産合計	7,716	7,792	76

### 【資産】

資産合計は、前期末比で76百万円増加しております。  
未収入金の回収が進み、現預金が増加いたしました。

### 【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で141百万円増加しております。  
主に、再保険事業の未払保険金等が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前期末比で64百万円減少しております。  
当期純利益を785百万円計上したものの、配当及び自己株式の取得により純資産は微減となりました。

## 平成30年9月期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位:百万円)	平成29年9月期	平成30年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,152	1,712	559
税金等調整前当期純利益	1,079	1,135	56
減価償却費	425	398	▲ 26
その他	▲ 352	177	529
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 119	▲ 255	▲ 135
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 778	▲ 1,067	▲ 288
有利子負債の増減額	▲ 6	▲ 156	▲ 149
配当金の支払額	▲ 518	▲ 545	▲ 26
その他	▲ 253	▲ 365	▲ 112
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	254	389	135
現金及び現金同等物の期首残高	1,044	1,299	
現金及び現金同等物の期末残高	1,299	1,689	389

営業活動による収入1,712百万円(税金等調整前当期純利益の計上等)、投資活動による支出255百万円(無形固定資産の取得等)、及び財務活動による支出1,067百万円(配当の支払・有利子負債の返済・自己株式の取得)により、現金及び現金同等物は前期末に対し389百万円増加し、1,689百万円となりました。

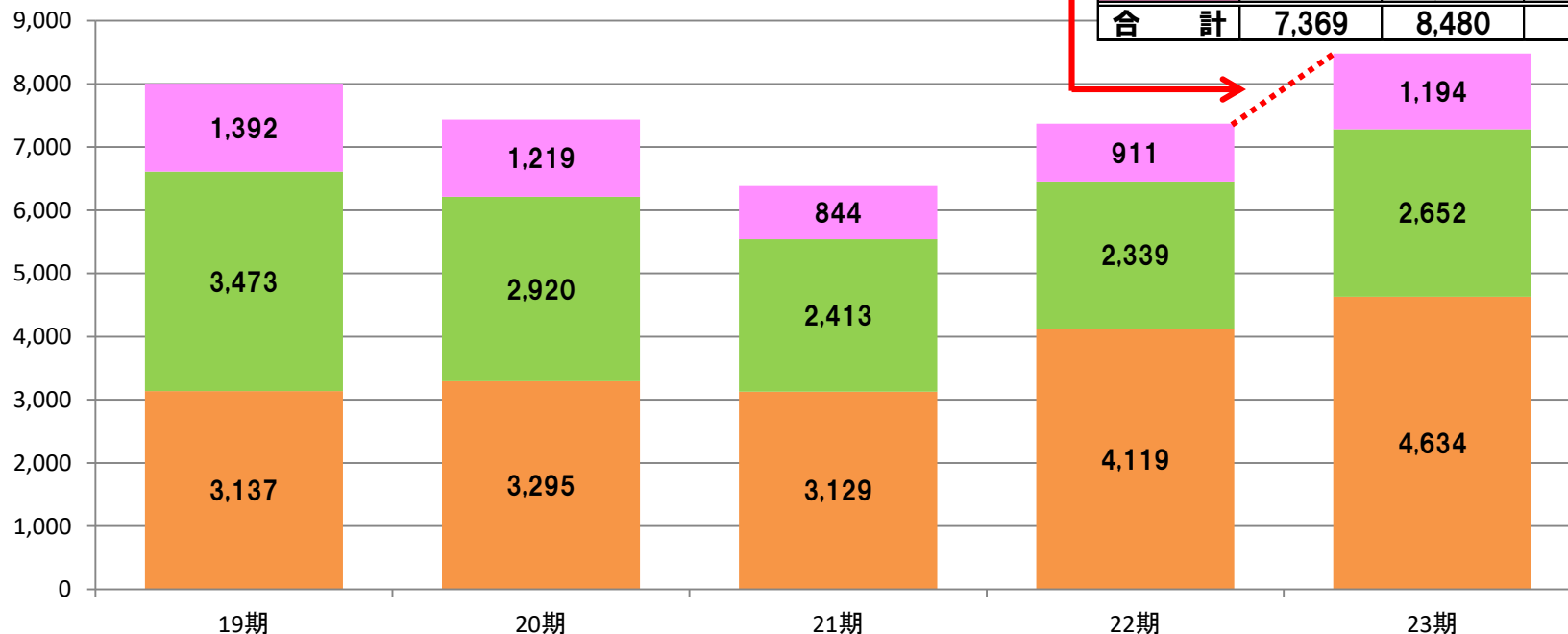


## チャネル別申込ANPの推移

全部門において堅調に伸長し、前年比**15.1%増**

(単位：百万円)

	22期	23期	前年比
対面販売	4,119	4,634	12.5%
通信販売	2,339	2,652	13.4%
協業	911	1,194	31.0%
合計	7,369	8,480	15.1%



※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPIは60,000円となります。

※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

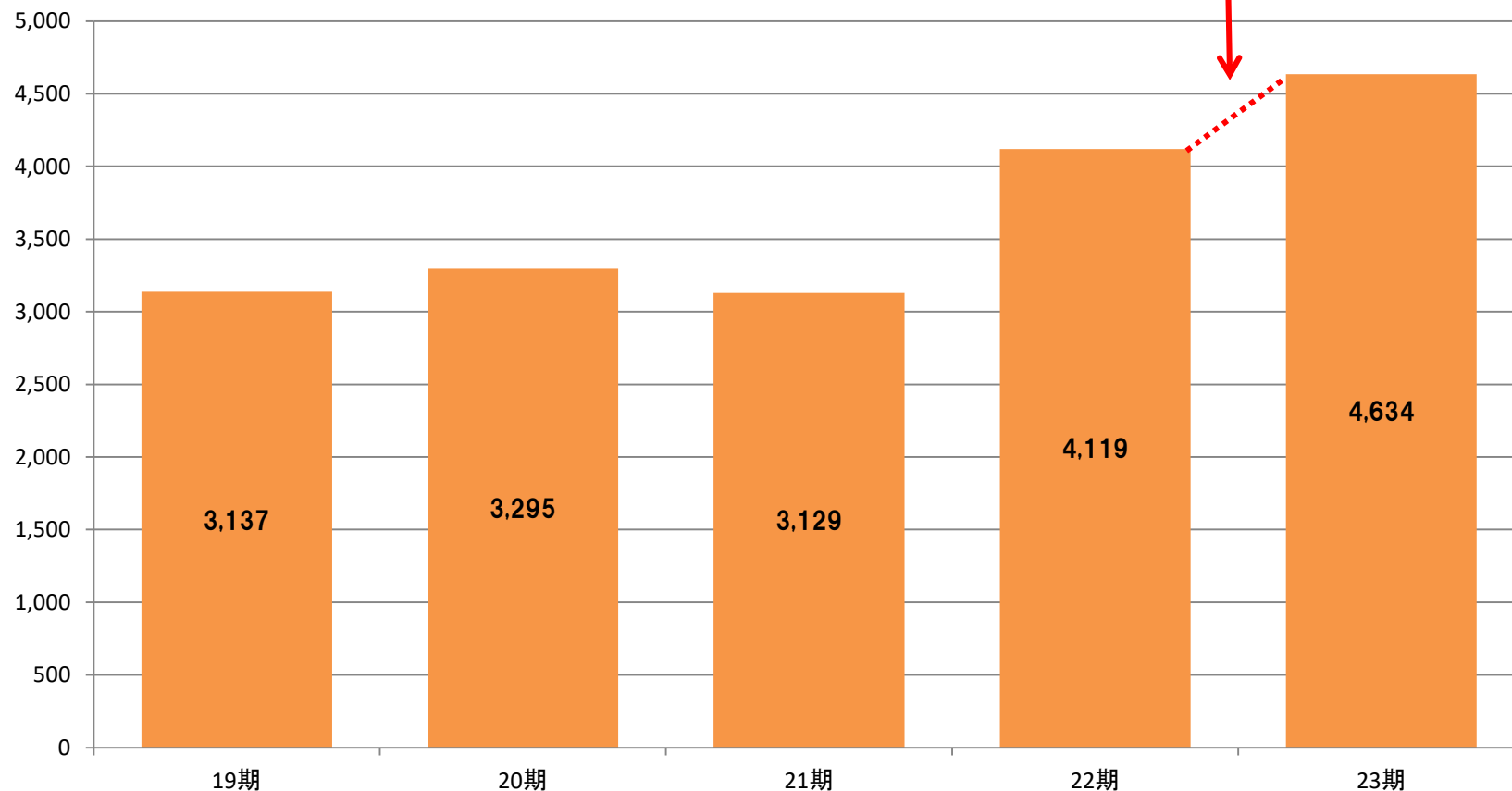
※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

※第21期より一時払い保険について調整を行っており、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

## 対面販売ANPの推移

対面販売ANPは順調に伸長し、前年比**12.5%増**

(単位：百万円)

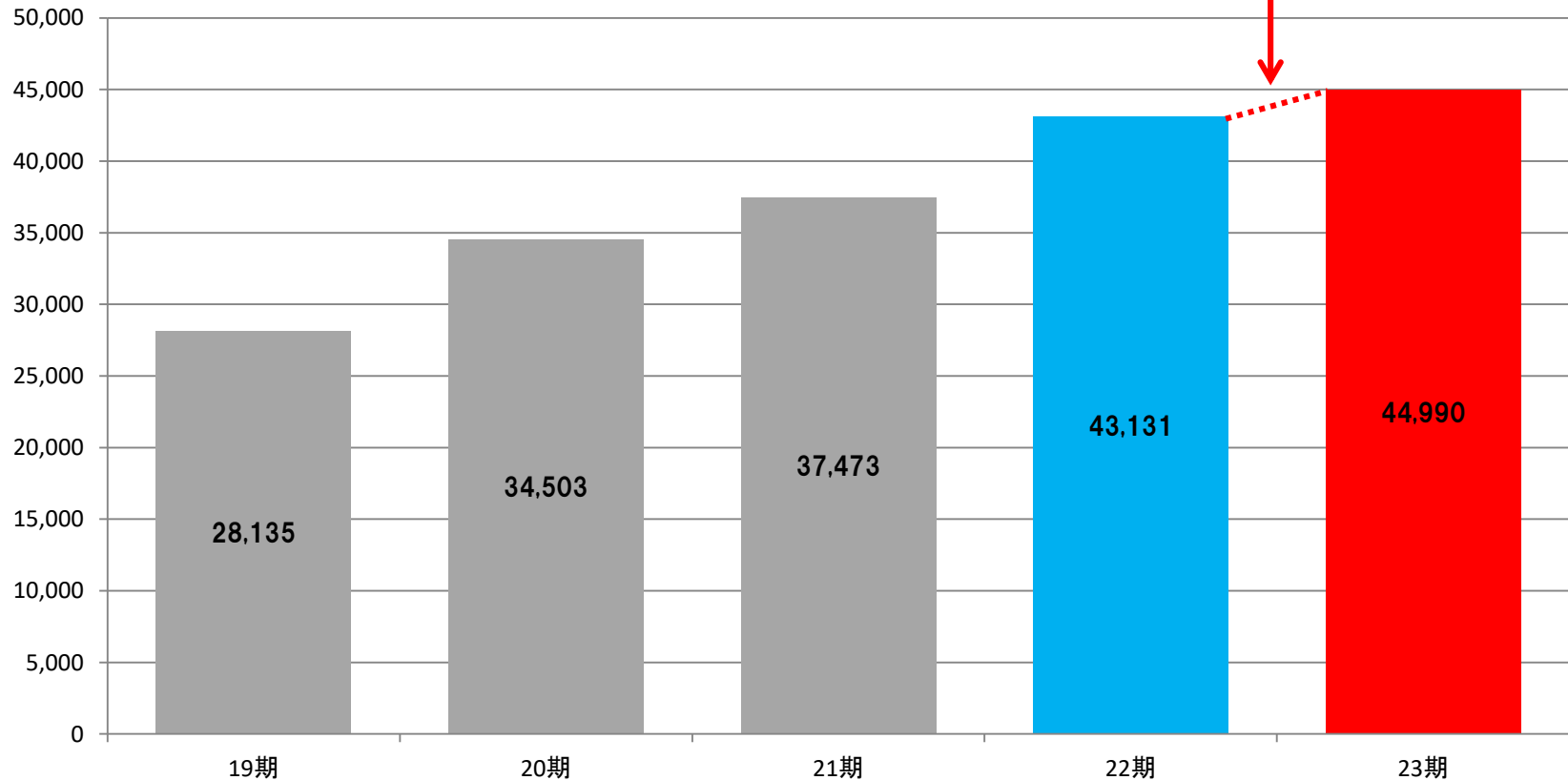


※対面販売ANPの計算上、一時払い保険について調整を行っております。

## 対面一人当たりANPの推移

引き続き高い生産性を維持し、**前年比4.3%増**

(単位：千円)

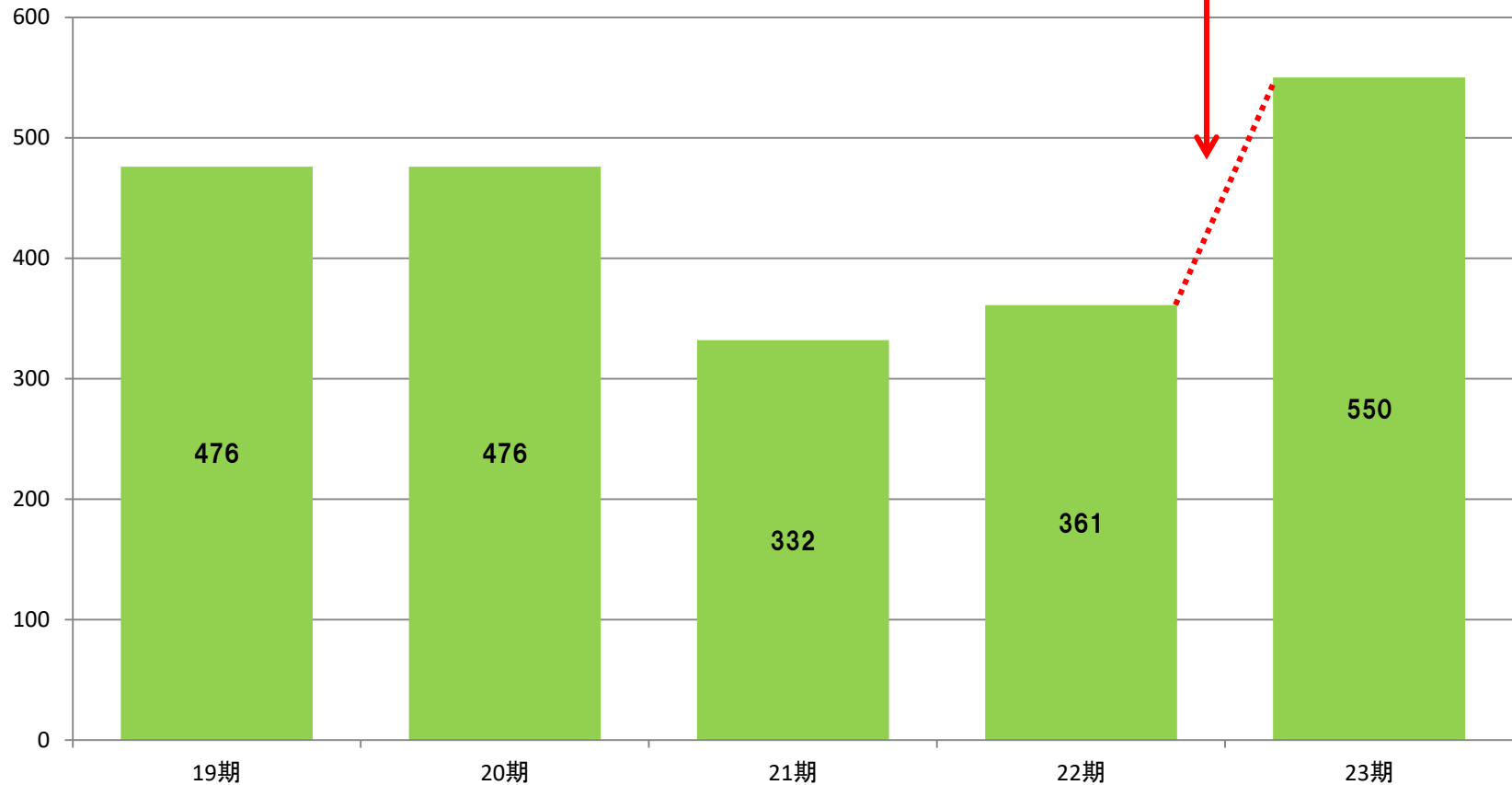


※一人当たりANPの計算上、一時払い保険について調整を行っております。

## ネット生保ANPの推移

効果的なWEBマーケティングが奏功し、**前年比52.3%増**

(単位：百万円)

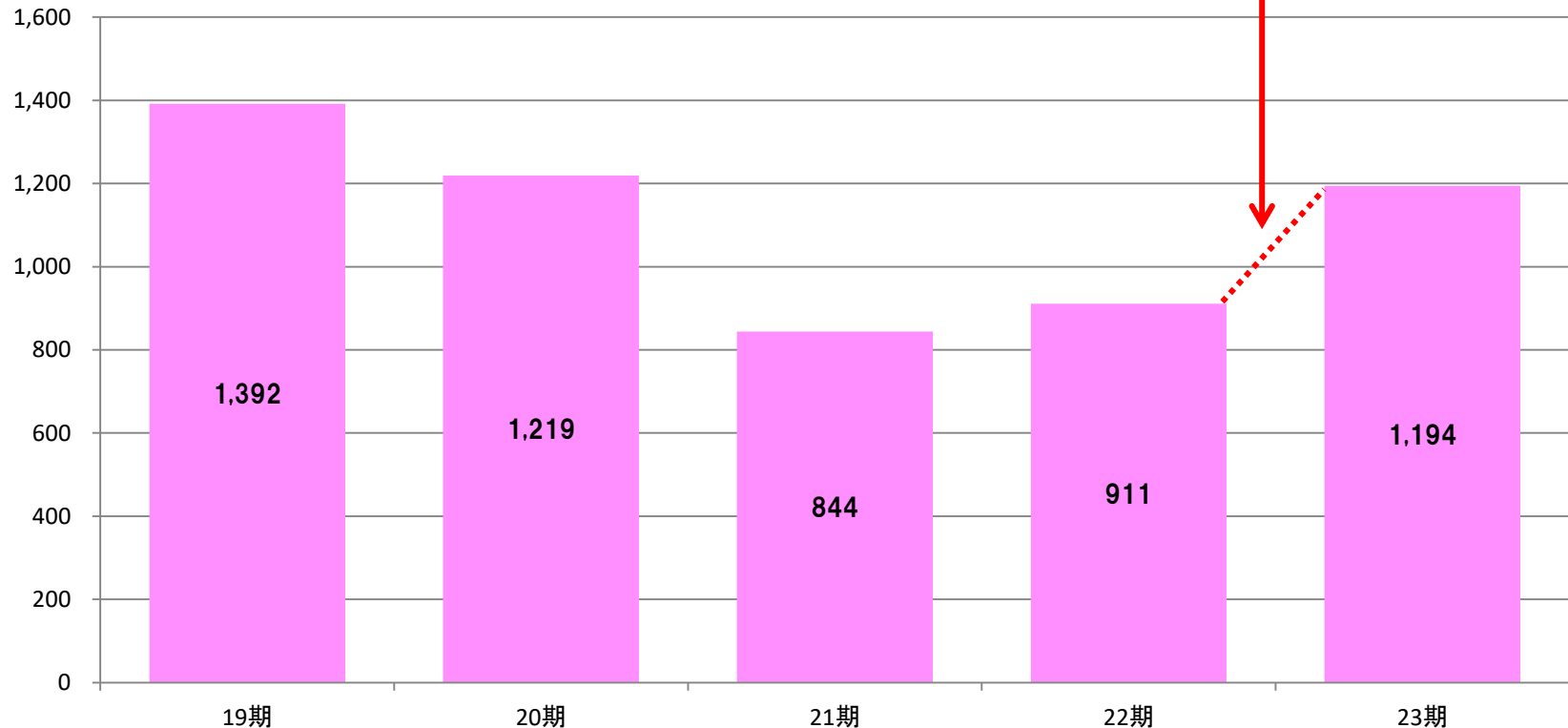


## 協業ANPの推移

協業先においても順調に伸長し、**前年比31.0%増**

- ショップ・訪問等、多様な協業チャネルにより全国展開
- お客様に対し、最適なコンタクトポイントの提供
- 【提携代理店 78社 提携店舗 323店 提携稼働募集人 約52,000人】※平成30年9月30日現在  
(前期末における提携代理店社数 122社)

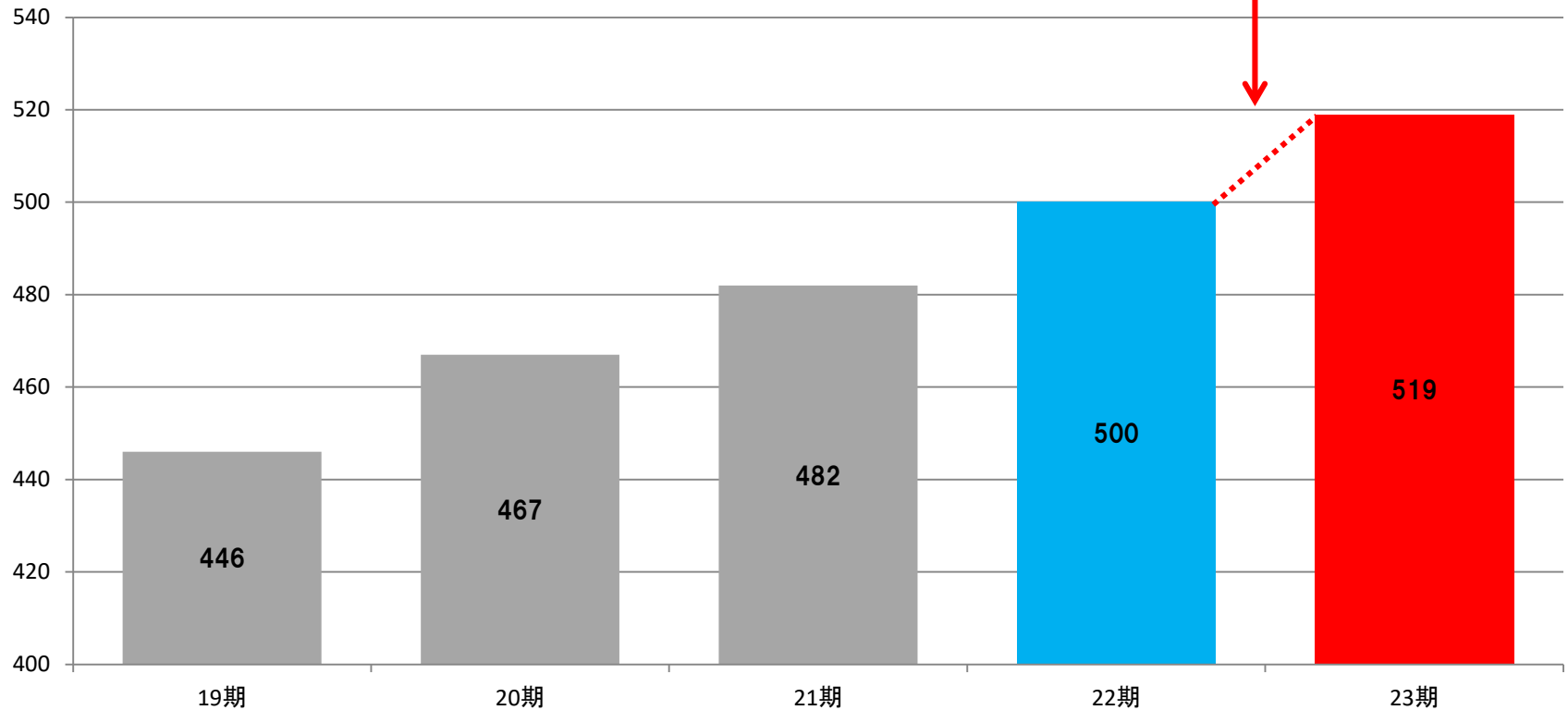
(単位：百万円)



## 保有契約件数の推移

保有契約件数は順調に増加し、**前年比3.9%増**

(単位：千件)

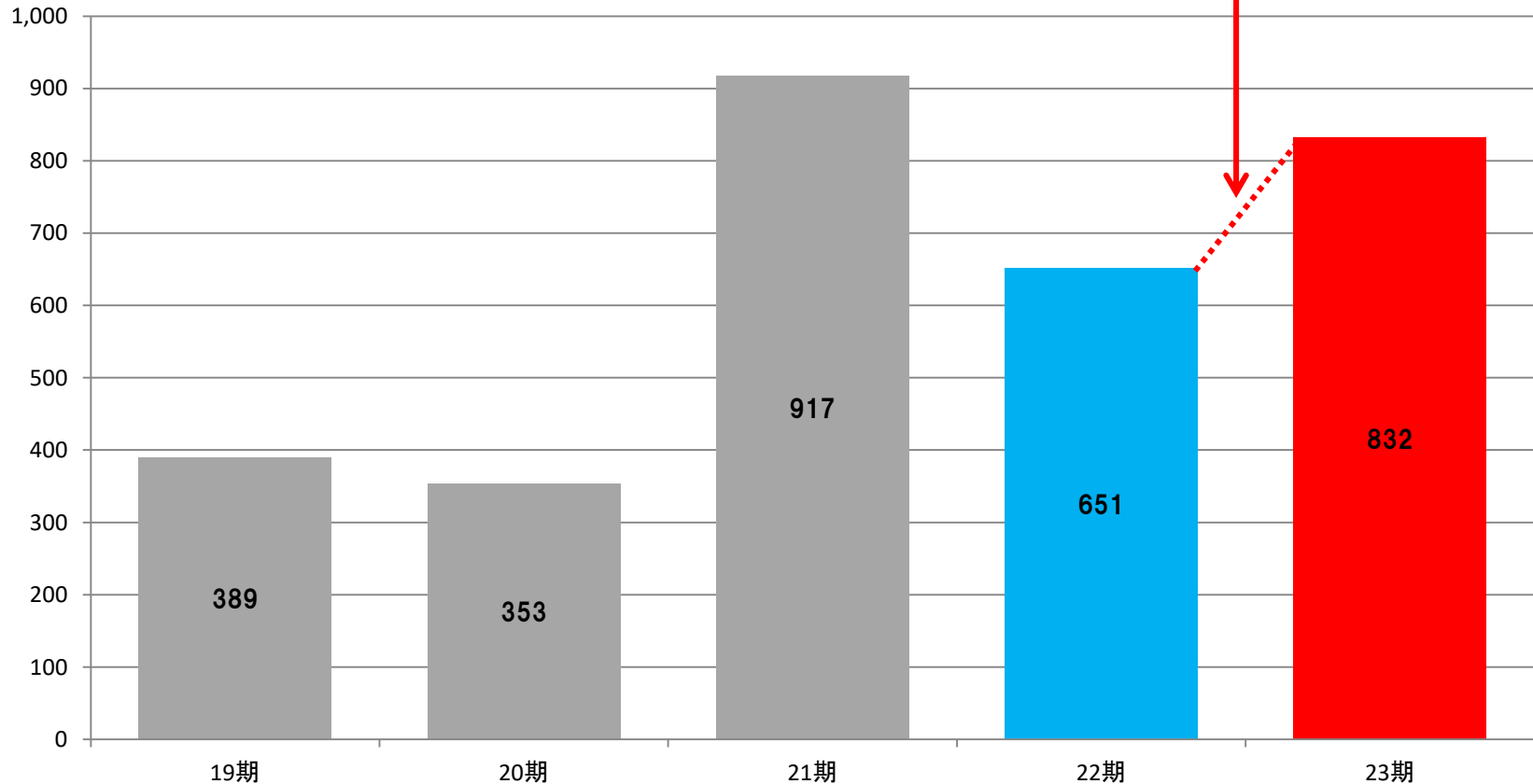


※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等、継続・更新されるものとし、短期傷害保険(旅行保険等)については除いております。

## メディア収入の推移

広告及びメディアレップ共に好調に推移し、**前年比27.7%増**

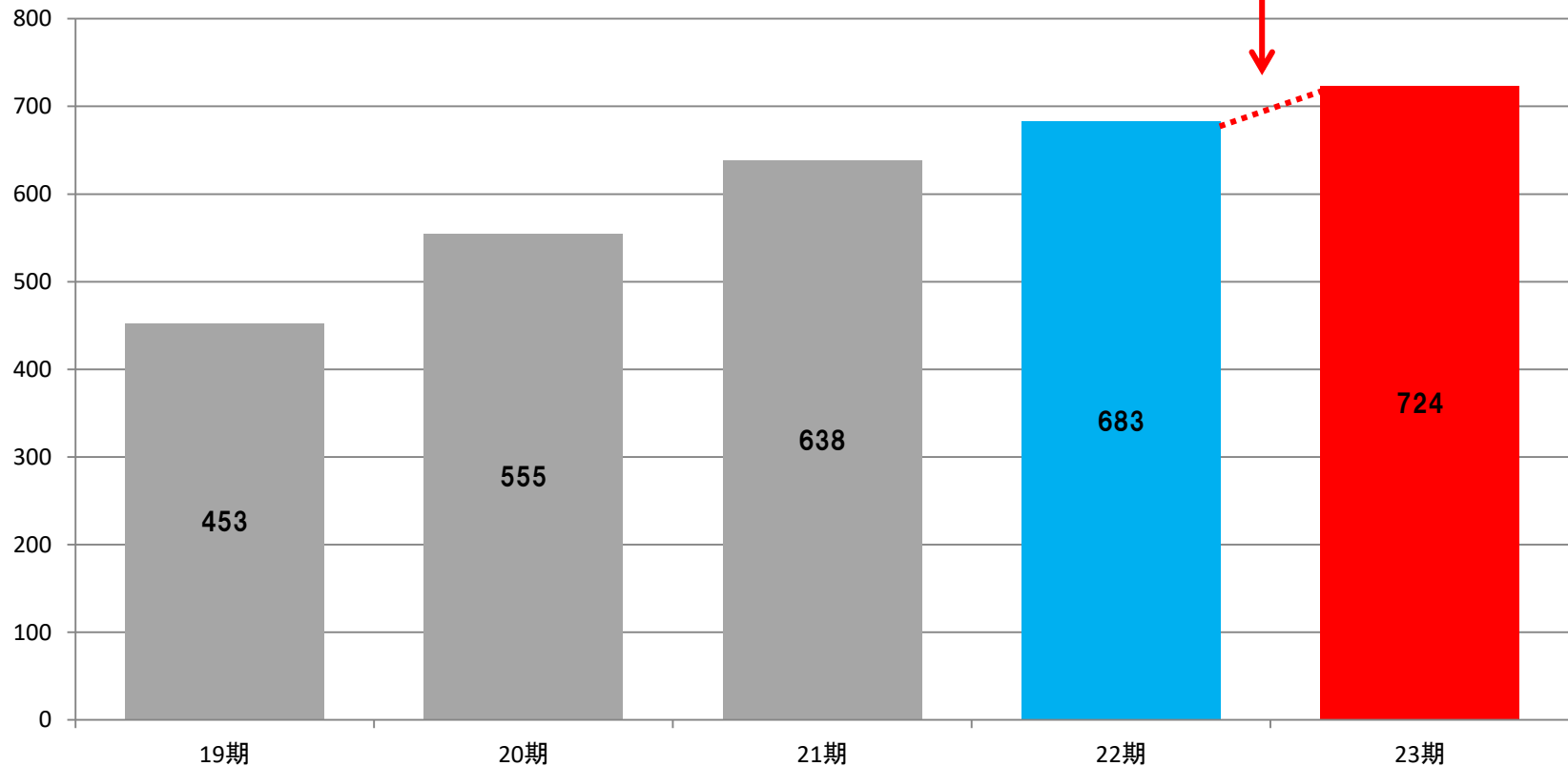
(単位：百万円)



## 再保険事業収入推移

再保険事業収入は引き続き伸長し、**前年比5.9%増**

(単位：百万円)



**10社(生命保険7社、損害保険2社、少額短期保険1社)の再保険引受**

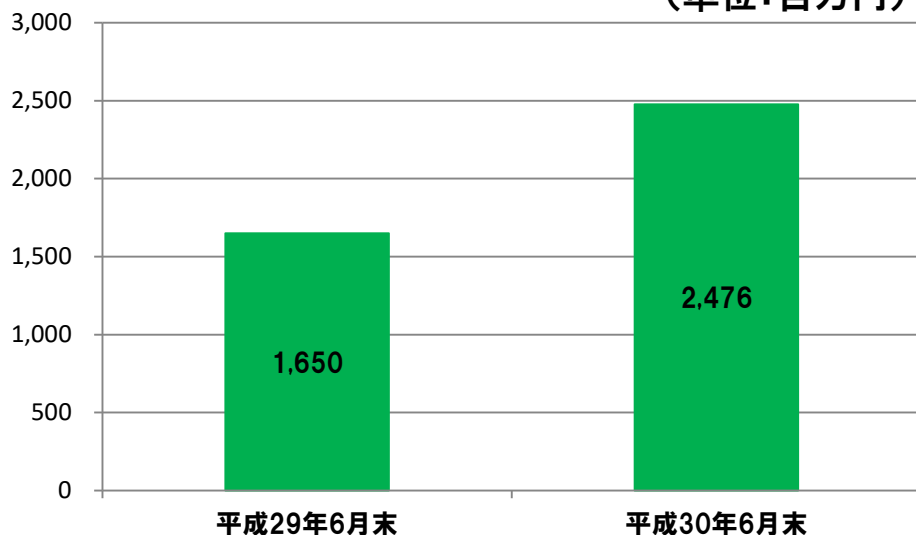


## EEV推移（再保険事業収益現在価値）

再保険子会社Advance Create Reinsurance Incorporatedの平成30年6月末現在のEEV（ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー）は2,476百万円、当期の新契約価値は209百万円

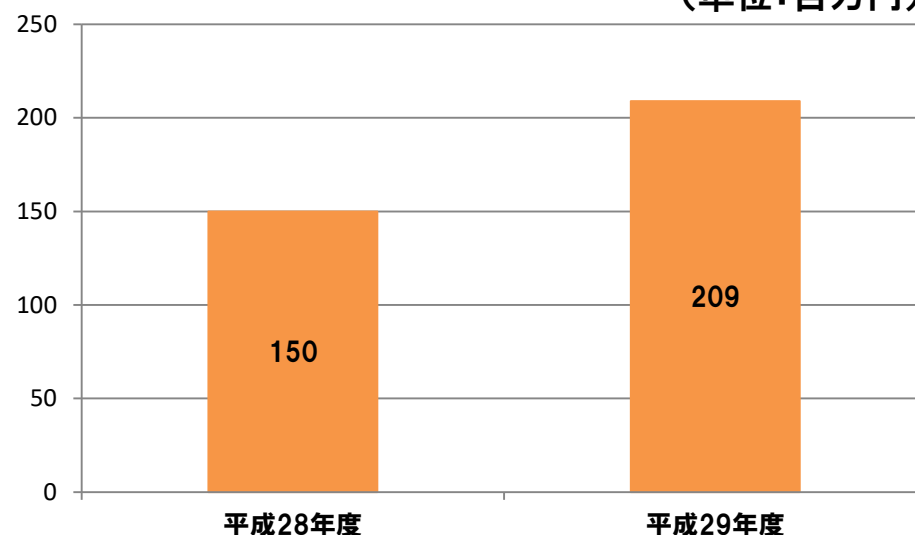
### EEV

（単位：百万円）



### 新契約価値

（単位：百万円）



※1 EV(Embedded Value)とは、潜在する株主配当可能利益の現在価値を示す指標であり、新契約獲得時に将来の利益貢献を認識することにより、財務会計情報を補足する指標となります。当社は生命保険会社で広く採用されているヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)を採用しております。

※2 EEVの計算は、専門的知識を有する第三者機関である有限責任監査法人トーマツに検討を依頼し報告書を受領しております。修正純資産、保有契約価値、新契約価値等の用語の意味並びに詳細な計算方法及び有限責任監査法人トーマツによる報告は、平成30年11月12日に開示しております「平成30年6月末における再保険子会社のヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

## Ⅱ. 当社の戦略について

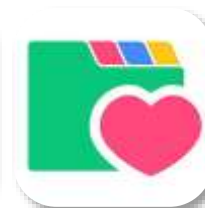
---

## 当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



データベース



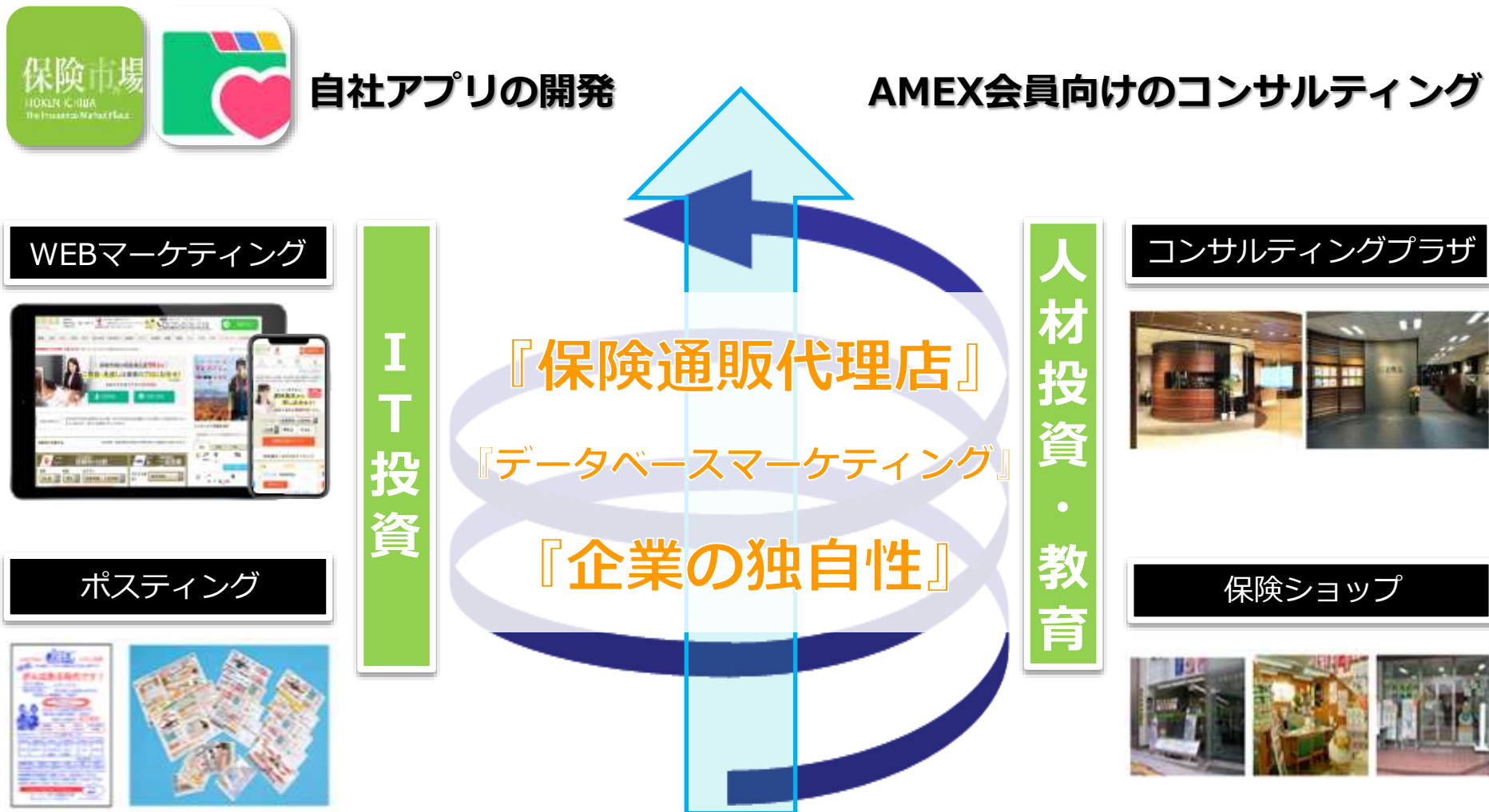
高い認知度



高い生産性



## 不易流行～螺旋的發展～



## ビジネスモデル

### 収益のポートフォリオ

代理店事業・メディア事業・再保険事業・ASP/BPOにより、  
保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ

※ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

### チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ  
ネット完結・通信販売・対面販売・協業へと繋げる

## Ⅱ. 当社の戦略についてービジネスモデル(2)

### メディア事業

- ・国内最大級の保険選びサイト「保険市場」
- ・保険への関心が高い顧客層に対するアプローチ
- ・媒体ビジネスによる収益構造を確立
- ・メディアレップ等収益源を多様化

# 保険市場

HOKEN ICHIBA  
The Insurance Market Place



 **Advance Create Reinsurance Inc.**

### 再保険事業

<再保険引受保険会社>

平成30年9月末現在

生命保険会社:7社

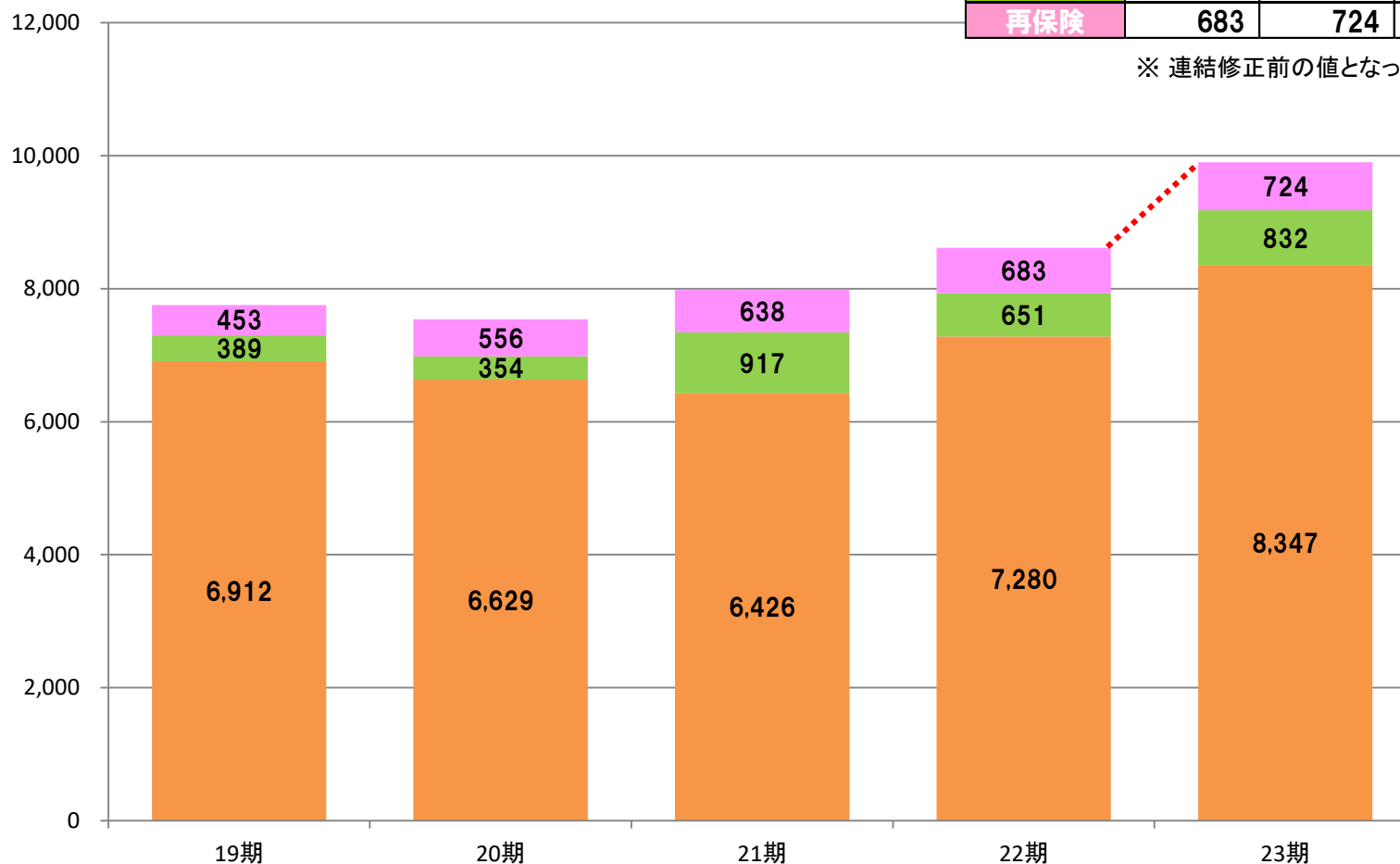
損害保険会社:2社

少額短期保険会社:1社

- ・リスク引受、保険金支払責任を持つことによるお客様との関係強化
- ・リスクを共有し健全な保険募集を行うことによる保険会社との紐帯強化
- ・引受保険会社を増やすことにより収益の安定化を図る

## セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)

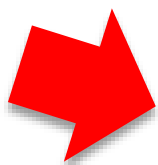


	22期	23期	前年比
保険代理店	7,280	8,347	14.7%
メディア	651	832	27.7%
再保険	683	724	5.9%

※ 連結修正前の値となっております。

## 保険代理店事業 – チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ



**保険市場**  
HOKEN ICHIBA  
The Insurance Market Place



ネット完結

通信販売

対面販売

協業



### 新しいマーケティング手法の開発



AI

×

BIG DATA

マーケティングの進化

## 対面販売チャネル

「保険市場 コンサルティングプラザ」においては、引き続き  
高品質なコンサルティングサービスを追求



<梅田阪急コンサルティングプラザ>

<千里中央コンサルティングプラザ>

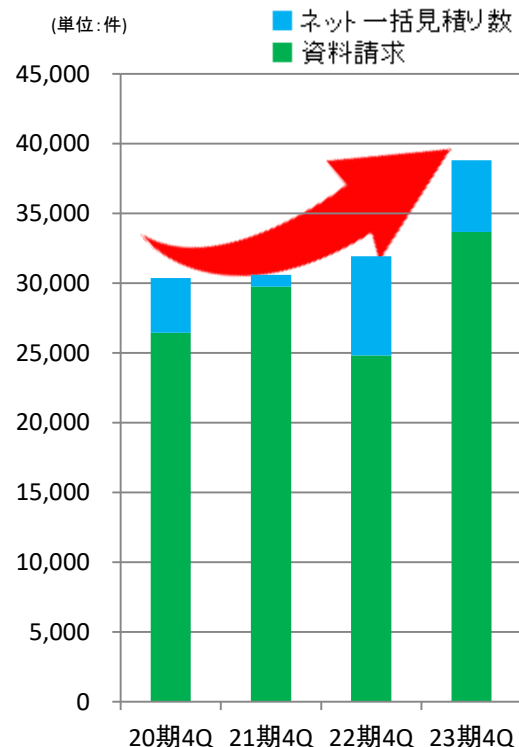
<本店コンサルティングプラザ>

# マーケティング手法の見直しやチャット・SMS等の活用により 資料請求数・アポイント数が増加

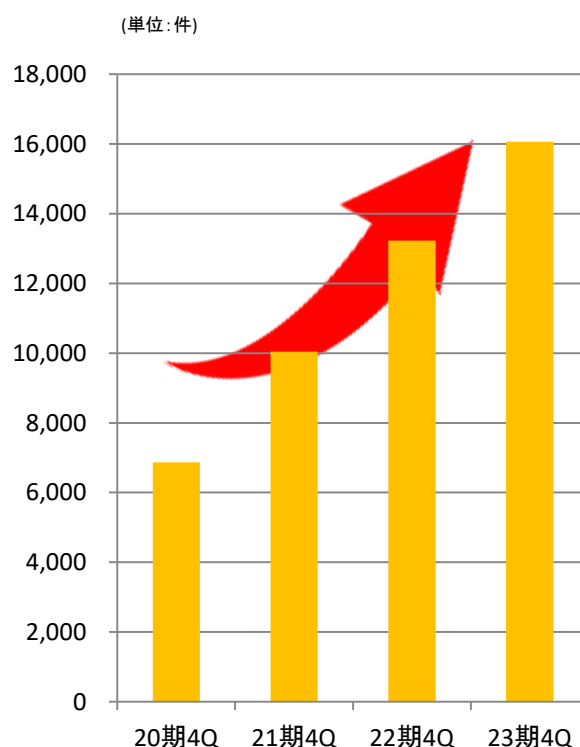
※アポイント数とは、Webから対面販売チャネルに誘導した商談数となります。  
(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)

## <四半期対比(3ヶ月)>

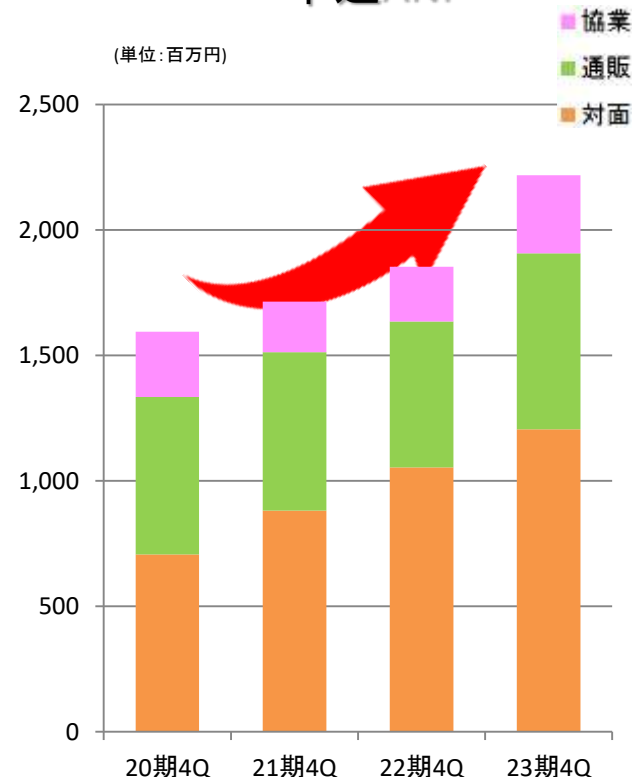
資料請求+ネット一括見積り数



アポイント数



申込ANP



# 投資戦略

## ROI（投資対効果）の極大化を図る

### IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ  
→ AIと人材の相乗効果により、より高い次元でのセキュリティと環境変化へのフレキシブルな対応
- RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）による生産性向上

### 人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



## 管理体制の強化

### 従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

#### 各種法律・関係法令等への対応

- ◆ 保険業法、個人情報保護法等の各種法律・関係法令等に即したシステム開発及び各種研修を継続的に実施

#### ガバナンス体制・コンプライアンス体制

- ◆ 各種特設委員会等の運営  
(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
- ◆ コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

#### 情報セキュリティ

- ◆ 個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
- ◆ 担当部署による有人監査体制の確立

#### 提携先代理店の 個人情報管理体制の確認

- ◆ 提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

## 株主の状況

**【平成30年9月30日現在】 株主数 8,402名**（単元未満株主を含む）

参考：平成29年9月30日現在 株主数：8,442名  
平成28年9月30日現在 株主数：8,222名

### ■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	769,700	6.99
住友生命保険相互会社	549,600	4.99
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	473,300	4.30
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
FWD富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	222,900	2.02

## CSRの取組み

### 「大阪マラソン」への協賛・参加

社員の健康増進に加え、広く一般市民のスポーツ活動を積極的に応援

(2013年より大阪マラソンへの協賛を続けています)



©Osaka Marathon 2017

### 関西大学 社会安全学部 寄附講座 「安全・安心な社会を支える保険制度」

単位認定講座として、社員講師による寄附講座を実施



## 決算情報ハイライト

(単位: 百万円)

連結	20期 通期実績	21期 通期実績	22期 通期実績	23期 通期実績	24期 通期予想	前期比
売上高	7,274	7,295	8,137	9,468	10,900	115.1%
営業利益	1,153	954	1,043	1,168	1,530	130.9%
経常利益	1,143	926	1,024	1,135	1,500	132.1%
当期純利益	644	582	742	785	980	124.8%
ROE	14.1%	12.4%	16.2%	17.3%	19.8%	
売上高経常利益率	15.7%	12.7%	12.6%	12.0%	13.8%	
配当性向	72.0%	87.7%	67.9%	66.9%	53.1%	
自己資本比率	65.3%	65.5%	59.3%	57.9%	60.2%	

### 【株主還元】

■平成30年9月期における配当については、第2四半期末、期末ともに1株当たり25円、年間合計は1株当たり50円の配当を実施いたします。



## 目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



## お問合せ先

総合企画部	片岡 幸一
TEL	06-6204-1193(代表)
メールアドレス	acir@advancecreate.co.jp
URL	<a href="https://www.advancecreate.co.jp/">https://www.advancecreate.co.jp/</a>